

## 経済学科専任教員公募要領

### 1. 担当科目

採用予定者の専門と本学科の授業のニーズにより決定します。

学部 経済学科関連科目

大学院 経済学コース関連科目

### 2. 職名・人員

准教授 1名

### 3. 任期

定めない、ただし採用予定者の経歴・業績次第で後述するテニュアトラック採用とする可能性があります。

### 4. 本学のテニュアトラック制度について

本学のテニュアトラック制度は、将来有望な教員が教育・研究にその能力を発揮できるような環境に可能な限り配慮するべく、以下の特徴を有しております。

(I) テニュアトラック教員の給与・肩書は、任期の定めのない(テニュア)教員と同等です。

(II) 相応の研究・教育業績が確認され次第、テニュアを付与することを想定しています。

(III) テニュアトラック教員の任期は5年としていますが、育児・介護・その他の事情次第ではテニュア審査を延期することもあり得ます。

(IV) 審査の結果テニュアを付与しないことになった場合でも、転職活動などのため必要であれば1年間任期を延長します。

詳細は、本学テニュアトラック制度に関する規定を参照してください。

[https://public1.legalcru.com/nuc\\_hokkaido/act/110010123.html](https://public1.legalcru.com/nuc_hokkaido/act/110010123.html)

### 5. 所属学科

商学部経済学科

### 6. 専攻分野

経済学

### 7. 応募資格

以下の条件をすべて満たす方

経済学において優れた研究業績を有する方

博士号取得者（取得見込み者を含む）

日本語で教育ができること。（英語で教育ができればさらに望ましい）

また、以下の科目の担当教員が現在欠員または近々退職見込みであるため、これらの科目のいずれかを教えられる方は（専門分野と若干の距離があったとしても）歓迎しますが、本選考は経済学のいずれの分野を専門とされる方も対象とします。

「国際貿易理論・国際経済学」

「金融論・現代ファイナンス理論」

「日本経済史」

#### 8. 採用予定年月日

2027 年 4 月 1 日またはそれ以降でなるべく早い時期

#### 9. 応募締め切り

2026 年 4 月 6 日(月)

書類選考は到着し次第開始し、適任者が得られた場合はいつでも選考を打ち切る可能性がありますので、なるべく早く応募をすることをお勧めします。

#### 10. 応募書類

カバーレター（応募メールの本文として日本語で作成し、推薦状を提出されない場合は照会先の研究者（2 名以上）の所属・連絡先を含めてください）

学歴、職歴、研究・教育業績などがわかる研究者としての履歴書（様式は任意です。日本語または英語で作成してください）

研究論文（1-3 本程度。Job Market Paper がどれかを指定してください）

推薦状（提出は任意ですが、研究歴が短い方は提出することを強くお勧めします。推薦状は推薦者から直接書類提出先に提出してください）

その他、応募者が必要だと考える書類

おって、審査の状況により、学部・大学院の成績証明書・卒業（修了）証明書、Teaching Evaluation、本学所定の事務的な履歴書・教育研究業績調書、顔写真などの追加書類の提出をお願いする可能性があります。

#### 11. 選考方法

提出された書類を審査のうえ、必要な場合は研究発表・本学科教員との面接を行います。また、候補者の教育歴次第では模擬講義をお願いする可能性があります。その際には本学の規定および予算の範囲で旅費の全部または一部を支給いたします。

#### 12. 応募方法

応募書類はメール（件名は「経済学科教員応募書類」としてください）の添付ファイルにて、経済学科助手 saori@res.otaru-uc.ac.jp 宛へ送信してください。万一、送信後 1 週間経過しても、受領の旨の返信メールが届かない場合は、再度メールにて問い合わせ願います。

### 13. メール問い合わせ先

経済学科助手 [saori@res.otaru-uc.ac.jp](mailto:saori@res.otaru-uc.ac.jp)

### 14. その他

履歴書等，個人情報に関わる書類は審査終了次第，廃棄いたします。

本学は男女雇用機会均等法を遵守し，育児支援型勤務時間体制を導入しています。

給与は，「小樽商科大学2号年俸制適用職員給与規程」によります。